

歴史のなかの平和的国際機構

日本国際政治学会編

序章 平和的国際機構と歴史研究……………	篠原初枝
ロバート・セシル卿の国際平和機構観……………	秦野貴光
戦間期の列国議会同盟と日本……………	伊東かおり
ヘルス・ガバナンスの胎動と国際連盟保健機関……………	山越裕太
知的協力から国際文化交流へ……………	齋川貴嗣
「強制的連盟」と「協議的連盟」の狭間で……………	帯谷俊輔
国際機構に請願する権利……………	小阪裕城
国連システムの構築における	
トランスナショナルネットワークの役割……………	詫摩佳代
アルジェリア戦争と赤十字国際委員会（ICRC）……………	藤井篤
紛争の証言者としての人権NGOの出現……………	五十嵐元道
アフリカの集団安全保障における	
地域機構の役割、発展と特徴……………	山口正大
〈書評〉	
中谷直司著	
『強いアメリカと弱いアメリカの狭間で』……………	菅原健志
今井宏平著	
『中東秩序をめぐる現代トルコ外交』……………	中村覚